

おこづ。 知つて

川での楽しい釣りや水遊びも、時に急な増水や川底の深みで水難事故につながることがあります。近年も急な増水や深みによる死亡事故が発生しています。そのため、川で遊ぶときは、川や水辺にひそむさまざまな危険を知り、事前の準備と、活動時の安全管理をすることで、事故を防ぎましょう。



—発行—

大阪府 都市整備部 河川室

〒540-8570 大阪市中央区大手前二丁目
tel.06-6941-0351(代表)
http://www.pref.osaka.lg.jp/s_kasen/

マメ知識

大阪府の「防災情報メール」では、地域に発表された警報・注意報などをメールで携帯電話にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net（空メールを送信してください）



天気予報専門サイト
tenki.jp
(一財)日本気象協会



防災情報メール



川に出かけるときは
まず、天気をチェック！
行き先には、大雨注意報・警報は
出ていますか？



国土交通省では川の
防災情報を携帯電話
向けに情報提供して
います。
右は、大阪周辺の
レーダー画面です。



▶QRコードの使い方



①



②



サイトが表示され
ます。

QRコードリーダー対応の
携帯に限ります

急な増水や深みに注意!!



大阪府 都市整備部 河川室

川のことをよく知ろう!

～急な増水や深みに注意!!～

川で遊ぶことは、すごく楽しい。魚捕りやカヌー、水遊び、たくさんの楽しみがみんなを待っている。

でも川には、**急な増水や背が届かないくらい深いところ、水の流れが速いところ、滑りやすいところ**などの危険があるんだ。「天気常に気を配る」、「川の様子をよく見る」などいくつかの注意で、急な増水や川底の深みによる水難事故を未然に防ぎ、安全に川を楽しもう！

こんなことに気をつけよう!!

浮き石

うっかり足をのせるとバランスを崩し、落水することもある。

上流の雨

今いる場所で晴れても、上流や流域の局地的豪雨で、一気に川の水が増水し、水位が上昇することがある。

落差工

川の中にある段差の近くでは、強い流れに引き込まれたりする。

穏やかな流れ

一見穏やかに見える流れも、川底の影響で流れは一定ではない。川の事故の約90%はこの穏やかな流れで発生している。

1 川に行く前に

- 必ず天気や川の情報をチェックしよう。急な雨で、川が増水することもあるぞ！
- 川に近づく場合は、ライフジャケットなど活動に合った準備をしよう。



2 川に着いたら

- 川に関する注意看板があれば確認しよう。
- 大人も子どももライフジャケットを着用し、子どもからは目をはさない。
- 川のリアルタイムな情報を確認し、上游の状況についても把握しよう。



3 急な増水や川底の深みに注意！

- 雨が降り増水すると川底になるぞ。特に、中州にいると川に取り残され逃げられなくなるぞ！
- 平常時でも、落差工の近くや川底には深みがあるぞ。深みにはまると溺れるぞ！
- 川には流れがあり、常に変化しているぞ！
- 一見穏やかに見えても急に深くなる所や滑りやすい所があるぞ！



4 すぐに避難！

- 空が曇ったり、濁った水が流れて来たら、直ちに避難しよう！
すぐに川は増水するぞ！

注意報や警報がでたら、すぐに避難！
避難の遅れは事故につながるぞ！



増水の前ぶれはこんな時！

- 山鳴り（山全体がうなるような音）がする。
- 水かさが増え、濁ったり、流木、落ち葉が流れてくる。
- 雨が降っているのに、水かさが減っている。
- 腐った土・火薬のようなにおいがする。

- パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。



**中州は危険！
増水すると川に取り残されるぞ！**

増水時をイメージしよう！

(公財) 河川財団 水辺の安全ハンドブックより